

国語科学習指導略案（第2学年悠々学級 男子1名）

平成30年9月26日（水）4限
授業者：川尾裕美

- 1 単元名：哲学的思考のすすめ
- 2 本時のねらい：『自分の知識や体験と関連づけながら、筆者の論証の進め方を理解し、考えるための技術を捉えることができる』
- 3 準備物：ワークシート
- 4 本時の学習過程（第3時／全6時間）

生徒の学習活動及び発問・予想される生徒の反応	・留意点 ○評価【観点】（方法） ※手立て
<ul style="list-style-type: none"> ・前回出した自分の「恥ずかしかった」体験を思い出す。 ・論証の中心部分（四つの段階）をふり返る。 	
<p>めあて：筆者の考えなどについて、知識や体験と関連づけて検証する。</p>	
<p>展開1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者が考えた「恥ずかしいと感じるとき」を一般化し、筆者の論証の進め方を理解する。 ・自分の恥ずかしかった体験や周りの人の恥ずかしかった体験と筆者の論証と合うかを考えて、検証する。 	<p>※分類が難しいようであれば、教科書をもう一度見るようにながす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の体験はどの段階か、周りの人の体験はどの段階か、ひとつひとつ検証していく。 <p>○具体例を説明できるようになる</p>
<p>山場：「考えるための技術」を探す。——具体例をいくつも挙げ、一般化する。反例を探したり、比較したり、視点を変えたりして、より説得力のある結論へ。</p>	
<p>展開2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「比較して考える。これもうまく考えるためのだいたいな技術の1つだ」（93.6）とあるように、筆者は「考えるための技術」を使って論証を進めています。「比較して考える」以外にどんな考えるための技術が使われているか挙げてみてください。 	<p>※難しいようであれば「考えるための技術が使われている部分を指定し、そこでどのような技術が使われているか考えさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><めあての評価>自分の知識や体験と関連づけながら論証を吟味したり、身近なことについて考えたりしている。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><ねらいの評価>「哲学的に考える」ことを支えている「考えるための技術」を捉えることができる。</p> </div>
<p><振り返り・まとめ> 筆者の論証の進め方を確認し、「考えるための技術」を習得できるように、次の授業へつなげていく。</p>	